

今年度の個体数調整実施計画

平成 22 年度の個体数調整実施計画は表 1 のとおり。

表 1 平成 22 年度の個体数調整実施計画

手法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
くくりわな	←-----→								
装薬銃	↔								↔
その他 (アルパインキャプチャー) (麻酔銃)	←-----→								

点線：終了期間 実線：実施予定期間

■今後の実施計画

大台ヶ原におけるニホンジカの平成 22 年度の捕獲目標は 70 頭であり、9 月末現在で 62 頭が捕獲された。昨年度の捕獲結果では、秋以降の捕獲効率は低下した。しかし、捕獲目標までの残り頭数が 8 頭となったことから、ドライブウェイ閉鎖後の装薬銃による捕獲に併せて、その期間前後にくくりわなを実施することで目標頭数は達成可能と考えられる。そのため、今後の捕獲実施は以下のとおりとする。

・くくりわな

期間：11 月下旬～12 月上旬（装薬銃実施日はわなが作動しないようにする）

設置場所：東大台地域

見回り：毎日 1 回、早朝に実施

・装薬銃

期間：12 月上旬（ドライブウェイ閉鎖後）

用いる銃の種類：ライフル銃、散弾銃（非鉛弾を使用）

実施地域：東大台地域

安全対策：東大台地域の主要な出入りに注意看板を設置し、実施時には見張者をつける。

関係者全員が無線機を所持し、常時連絡がとれる体制をとる。

■その他

①安全性対策

○保険の加入

○注意標識を設置するとともに、捕獲実施の場所、日程について関係機関に周知する。

【注意標識設置位置（6箇所）】

ドライブウェイ入り口、ドライブウェイゲート、小処温泉への林道ゲート、駐車場入り口、
山の家登山道入り口、ビジター脇登山道

【見張りの配置（4箇所）】

小処温泉への林道ゲート、ビジターセンター駐車場、日出ヶ岳テラス、尾鷲辻分岐

②捕獲個体の処理

捕獲された個体は、自然環境研究センターが保護管理上必要部位（腎臓、第一切歯など）を採取したのち、処理施設にて埋設する。